

平成22年度第9回 国立病院機構本部中央治験審査委員会
会議記録（概要）

日時：平成22年12月14日（火）15時00分～17時50分

場所：国立病院機構本部 4階 第1会議室

出席者：鈴木英明 委員長

稲垣裕志 委員 岩田 敏 委員 奥田 勲 委員 小山一乗 委員

志摩園子 委員 土田 尚 委員 新延正憲 委員 村上貴久 委員

山本 昇 委員

欠席者：伊藤文代 委員

課題名

- (1) 「 を対象としたMK-3102の安全性及び有効性を検討するための後期第 相無作為
化プラセボ対照用量設定試験（基礎治療期）」

【治験依頼者：MSD（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名： 、治験薬名：MK-3102】

-の実施について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（実施の適否：対象医療機関 3施設）

各医療機関実施体制及び同意説明文書（案）について審議を行った。
また、治験薬の薬物動態に関して確認し、服用方法等について審議を行った。

【審査結果】

「修正の上、承認する。」

理由等（「承認」以外）：同意説明文書（案）の記載を修正すること。

- (2) 「TK-641 第 相臨床試験」

【治験依頼者：帝國製薬（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：がん性疼痛、治験薬名：TK-641】

-の実施について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（実施の適否：対象医療機関 20施設・21診療科）

各医療機関実施体制及び同意説明文書（案）について審議を行った。
また、試験の位置づけや有効性の評価方法、治験スケジュール等について確認し、審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

(3) 「 (急性冠症候群患者を対象としたCS-747S 第 相試験) 」

【治験依頼者：第一三共(株)、開発の相：第 相、
対象疾患名：急性冠症候群、治験薬名：CS-747S】

-の実施について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】：無

【審査内容(概要)】

(実施の適否：対象医療機関 6施設)

各医療機関実施体制及び同意説明文書(案)について審議を行った。
また、同意取得時の注意事項や治験薬の用量設定の根拠等について確認し、審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等(「承認」以外)：

(4) 「急性冠症候群患者を対象として、SCH530348を標準療法に追加投与した際の安全性および有効性を評価する多施設、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験-ACSIに対するTRAの臨床イベントの抑制」

【治験依頼者：MSD(株)、開発の相：第 相、
対象疾患名：急性冠症候群、治験薬名：SCH530348】

-の治験に関する変更(実施計画書)、及び安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】：無

【審査内容(概要)】

(継続の適否：対象医療機関 1施設)

治験実施計画書の改訂及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等(「承認」以外)：

- (5) 「慢性冠動脈性心疾患を有する患者における darapladib群とプラセボ群で比較する臨床アウトカム試験」

【治験依頼者：グラクソ・スミスクライン（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：慢性冠動脈性心疾患、治験薬名：SB-480848（Darapladib）】

-の治験に関する安全性報告（ 、 ）に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 7施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

（継続の適否：対象医療機関 3施設）

各実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発症状況や因果関係等についてそれぞれ確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (6) 「急性冠症候群患者における 臨床アウトカム試験」

【治験依頼者：グラクソ・スミスクライン（株）、開発の相：第 相
対象疾患名：急性冠症候群、治験薬名：SB-480848（Darapladib）】

-の治験に関する安全性報告（ 、 ）に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 4施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発症状況や因果関係等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

(7) 「Ropinirole PR/XR錠」

【治験依頼者：グラクソ・スミスクライン（株）、
開発の相：第 相、対象疾患名：パーキンソン病
治験薬名：SK&F101468（Ropinirole PR/XR）】

-の治験に関する変更（実施計画書： ）、及び安全性報告（ ）、並びに実施状況報告（ ）に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 7施設）

治験実施計画書の改訂及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。
また、当該医療機関における治験の実施状況について内容を確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発症状況や因果関係等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

(8) 「骨盤内炎症性疾患に対するアジスロマイシン注射剤からアジスロマイシン経口剤への切り替え療法の多施設共同、非盲検、非対照試験」

【治験依頼者：ファイザー（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：骨盤内炎症性疾患
治験薬名：CP-62,993-3- /CP-62,993-3(アジスロマイシン水和物)】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 5施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (9) 「大うつ病性障害の日本人成人患者を対象としたDVS SRの10ヶ月、非盲検、長期安全性試験」

【治験依頼者：ファイザー（株）、開発の相：第 相、対象疾患名：大うつ病
治験薬名：DVS SR (desvenlafaxine succinate monohydrate)】

-の治験に関する安全性報告()、及び実施状況報告()に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 2施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

（継続の適否：対象医療機関 3施設）

当該医療機関における治験の実施状況について内容を確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (10) 「第 相試験」

【治験依頼者：アストラゼネカ（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：気管支喘息、治験薬名： 】

-の治験に関する安全性報告について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発症状況や因果関係等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (11) 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象としてSymbicort®Turbuhaler®160/4.5 µg1回2吸入1日2回投与とOxis®Turbuhaler4.5 µg1回2吸入1日2回投与の有効性と安全性を比較する12週間投与無作為化二重盲検並行群間実薬対照多国籍共同第 相試験」

【治験依頼者:アストラゼネカ(株)、開発の相:第 相
対象疾患名:慢性閉塞性肺疾患(COPD)
治験薬名:ST(ブデソニド/ホルモテロール)、OT(ホルモテロール)】

-の治験に関する実施状況報告()、及び安全性報告()に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】:無

【審査内容(概要)】

(継続の適否:対象医療機関 4施設)

当該医療機関における治験の実施状況について内容を確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

(継続の適否:対象医療機関 1施設)

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発症状況や因果関係等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等(「承認」以外):

- (12) 「日本人慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者を対象としたST 1日640/18 μ g吸入及びCOPD標準治療による52週間投与時の安全性及び有効性を検討する多施設共同非盲検並行群間比較第相試験」

【治験依頼者:アストラゼネカ(株)、開発の相:第 相
対象疾患名:慢性閉塞性肺疾患(COPD)
治験薬名:ST(ブデソニド/ホルモテロール)】

-の治験に関する変更(症例報告書: 、分担医師:)、及び安全性報告()に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】:無

【審査内容(概要)】

(継続の適否:対象医療機関 5施設)

症例報告書の改訂について、審議を行った。

(継続の適否:対象医療機関 1施設)

治験分担医師に関する変更について審議を行った。

(継続の適否:対象医療機関 1施設)

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の経過等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

「承認する。」

理由等(「承認」以外):

- (13) 「日本人慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象としたホルモテロール1日18μg吸入及びCOPD標準治療による52週間投与時の安全性及び有効性を検討する多施設共同非盲検並行群間比較第Ⅰ相試験」

【治験依頼者：アストラゼネカ（株）、開発の相：第Ⅰ相
対象疾患名：慢性閉塞性肺疾患（COPD）、治験薬名：OT（ホルモテロール）】

-の治験に関する安全性報告（ ）、及び治験に関する変更（分担医師： ）、並びに実施状況報告（ ）に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 3施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。
また、当該医療機関における治験の実施状況について内容を確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発生状況や因果関係等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

治験分担医師に関する変更について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (14) 「標準治療を受けている急性冠症候群患者を対象とするAPIXABAN 24週間投与時の安全性および有効性評価を目的としたプラセボ対照、多施設共同、無作為化二重盲検試験」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相
対象疾患名：急性冠症候群、治験薬名：BMS-562247(Apixaban)】

-の治験に関する安全性報告()に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】：無

【審査内容(概要)】

(継続の適否：対象医療機関 2施設)

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

(継続の適否：対象医療機関 1施設)

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発生状況や因果関係等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等(「承認」以外)：

- (15) 「急性冠症候群患者を対象とするアピキサバンの安全性および有効性評価を目的とした第3相無作為化二重盲検試験」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相
対象疾患名：急性冠症候群、治験薬名：BMS-562247(Apixaban)】

-の治験に関する変更(実施計画書：)、及び安全性報告()に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】：無

【審査内容(概要)】

(継続の適否：対象医療機関 11施設)

治験実施計画書の変更及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

(継続の適否：対象医療機関 3施設)

各実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発生状況や因果関係等についてそれぞれ確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等(「承認」以外)：

- (16) 「気腫病変を有する慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者を対象としたOPC-6535の第 相、国際共同、多施設、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間用量検討試験」

【治験依頼者：大塚製薬（株）、開発の相：第 相
対象疾患名：慢性閉塞性肺疾患（COPD）
治験薬名：OPC-6535（テトミラスト）】

-の治験に関する変更（責任医師、同意説明文書等： ）、及び安全性報告（ ）に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

治験責任医師の変更及びそれに伴う同意説明文書、契約書等の変更について審議した。

（継続の適否：対象医療機関 2施設）

各実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発生状況や因果関係等についてそれぞれ確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (17) 「 」

【治験依頼者：ノバルティス ファーマ（株）、開発の相：第 相
対象疾患名：慢性心不全、治験薬名：SPP100（アリスキレン）】

-の治験に関する変更（治験薬概要書）、及び安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 6施設）

治験薬概要書の改訂及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (18) 「CP-690,550 第 相、無作為化、二重盲検比較、プラセボ対照試験-メトトレキサートを基礎治療とする活動性関節リウマチ被験者を対象に、CP-690,550 (2用量)あるいはプラセボを投与した際の有効性と安全性を評価する」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相
対象疾患名：関節リウマチ、治験薬名：CP-690,550-10】

-の治験に関する安全性報告()に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】：無

【審査内容(概要)】

(継続の適否：対象医療機関 4施設)

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

(継続の適否：対象医療機関 1施設)

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の経過や因果関係等についてそれぞれ確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等(「承認」以外)：

- (19) 「関節リウマチを対象としたCP-690,550の非盲検・非対照長期試験-CP-690,550の臨床試験に参加していたRA患者を対象に、CP-690,550の長期投与における安全性および忍容性を評価する-」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相
対象疾患名：関節リウマチ、治験薬名：CP-690,550-10】

-の治験に関する変更(実施計画書：)、及び安全性報告()に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】：無

【審査内容(概要)】

(継続の適否：対象医療機関 5施設)

治験実施計画書の改訂及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

(継続の適否：対象医療機関 1施設)

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発生状況や因果関係等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等(「承認」以外)：

- (20) 「CP-690,550の臨床試験に参加した関節リウマチ患者を対象に長期安全性および機能状態を評価することを目的とするプロスペクティブな観察研究」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相
対象疾患名：関節リウマチ、治験薬名：CP-690,550-10】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (21) 「線維筋痛症患者を対象としたプレガバリンの有効性および安全性を評価する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検比較試験」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相
対象疾患名：線維筋痛症、治験薬名：CI-1008(プレガバリン)】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (22) 「線維筋痛症患者を対象としたプレガバリンの安全性および有効性を評価する長期投与試験」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相
対象疾患名：線維筋痛症、治験薬名：CI-1008(プレガバリン)】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】：無

【審査内容(概要)】

(継続の適否：対象医療機関 1施設)

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等(「承認」以外)：

- (23) 「脊髄損傷後の慢性中枢性神経障害性疼痛を対象とした、プレガバリンの多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検比較試験」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相
対象疾患名：慢性中枢性神経障害性疼痛、治験薬名：CI-1008(プレガバリン)】

-の治験に関する変更(実施計画書)、及び安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】：無

【審査内容(概要)】

(継続の適否：対象医療機関 3施設)

治験実施計画書の改訂及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等(「承認」以外)：

- (24) 「中枢性神経障害性疼痛（脊髄損傷後疼痛、脳卒中後疼痛、多発性硬化症疼痛）患者を対象としたプレガバリンの長期投与試験」

【治験依頼者：ファイザー（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：中枢性神経障害性疼痛、治験薬名：CI-1008(プレガバリン)】

-の治験に関する変更（実施計画書）、及び安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 3施設）

治験実施計画書の改訂及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (25) 「日本人の再発型多発性硬化症患者に対するアボネックス（インターフェロン ベータ-1a）の有効性及び安全性について検討するための第 相臨床試験」

【治験依頼者：バイオジェン・アイデック・ジャパン(株)、
開発の相：第 相、対象疾患名：多発性硬化症
治験薬名：インターフェロン ベータ-1a】

-の治験に関する変更（同意説明文書、添付文書）、及び安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 2施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。
また、添付文書改訂に伴う同意説明文書の改訂について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

(26) 「YM150 第 相試験

」

【治験依頼者:アステラス製薬(株)、開発の相:第 相、
対象疾患名: 、治験薬名:YM150】

-の治験に関する変更(実施計画書、治験薬概要書:)、及び安全性報告(、)に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】:無

【審査内容(概要)】

(継続の適否:対象医療機関 7施設)

治験実施計画書及び治験薬概要書の改訂について審議を行った。
また、治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

(継続の適否:対象医療機関 1施設)

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の経過等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等(「承認」以外):

(27) 「 (NVA237のCOPD患者を対象とした第 相試験) 」

【治験依頼者:ノバルティス ファーマ(株)、開発の相:第 相
対象疾患名:慢性閉塞性肺疾患(COPD)
治験薬名:NVA237(臭化グリコピロニウム)】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】:無

【審査内容(概要)】

(継続の適否:対象医療機関 3施設)

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等(「承認」以外):

- (28) 「日本人健康乳児を対象にDTPaを同時接種した時のGSK Biologicals社製結合型10価肺炎球菌ワクチンの初回免疫（生後3,4および5ヵ月時の合計3回接種）および追加免疫（生後17～19ヵ月時に1回接種）による免疫原性、安全性および副反応の評価 -第 相、ランダム化、非盲検、比較試験-」

【治験依頼者：グラクソ・スミスクライン（株）、開発の相：第 相
対象疾患名：肺炎球菌感染症、治験薬名：GSK1024850A
（10価肺炎球菌莢膜多糖体および無莢膜型インフルエンザ菌
プロテインD結合型（10Pn-PD-DiT）ワクチン）】

-の治験に関する変更（分担医師： ）、及び安全性報告（ ）に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：岩田委員

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

分担医師の変更について審議を行った。

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発生状況や因果関係等についてそれぞれ確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【 審 査 結 果 】

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (29) 「TA-4708の 」

【治験依頼者：田辺三菱製薬（株）、開発の相：第 相、対象疾患名：慢性心不全、
治験薬名：TA-4708(ピソプロロールフマル酸塩)】

-の治験に関する変更（治験薬概要書： 、責任医師・同意説明文書等： ）、及び安全性報告（ ）、並びに実施状況報告（ ）に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 8施設）

治験薬概要書追補及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。
また、当該医療機関における治験の実施状況について内容を確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

責任医師の変更及びこれに伴う契約書、同意説明文書等の変更について審議を行った。

【 審 査 結 果 】

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (30) 「胃又は十二指腸潰瘍の既往を有する低用量アスピリン（LDA）継続投与患者を対象としたD961H の 第 相臨床試験」

【治験依頼者：アストラゼネカ（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：胃又は十二指腸潰瘍（発症予防）、治験薬名：D961H（ ）】

-の治験に関する変更（実施計画書等）、及び安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 5施設）

治験実施計画書及び症例報告書の改訂について審議を行った。
また、治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (31) 「フルチカゾンフランカルボン酸エステル/GW642444吸入用散剤の慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対する臨床評価-慢性閉塞性肺疾患患者を対象とした新規ドライパウダー吸入器によるフルチカゾンフランカルボン酸エステル/GW642444配合吸入用散剤と各配合成分単剤の吸入用散剤（朝1回投与）の有効性および安全性を検討する24週間のプラセボ対照比較試験-」

【治験依頼者：グラクソ・スミスクライン（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：慢性閉塞性肺疾患（COPD）、
治験薬名：GW685698/GW642444、GW685698、GW642444（GW685698：
フルチカゾンフランカルボン酸エステル（FF）、GW642444X：-）】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 4施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (32) 「日本人慢性心不全患者を対象としたエプレレノンの心血管イベント死及び心不全による入院への効果を検討する第3相試験（無作為化プラセボ対照二重盲検比較試験）」

【治験依頼者:ファイザー(株)、開発の相:第 相、
対象疾患名:慢性心不全、治験薬名:SC-66110(エプレレノン)】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】:無

【審査内容(概要)】

(継続の適否:対象医療機関 1施設)

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発生状況や因果関係等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等(「承認」以外):

- (33) 「 進行性肝細胞癌患者を対象としてRAD001の有効性及び安全性を評価する第 相
試験 」

【治験依頼者:ノバルティス ファーマ(株)、開発の相:第 相、
対象疾患名:肝細胞癌、治験薬名:RAD001()】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員(手順書第5条第6項に該当する委員)】:無

【審査内容(概要)】

(継続の適否:対象医療機関 3施設)

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等(「承認」以外):

- (34) 「高リン血症を呈する保存期の慢性腎臓病（CKD）患者における炭酸ランタンの有効性および安全性を検討することを目的とした無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験」

【治験依頼者：バイエル薬品株式会社、開発の相：第 相、
対象疾患名：慢性腎臓病、治験薬名：炭酸ランタン（BAY 77-1931）】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 6施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (35) 「高リン血症を呈する保存期の慢性腎臓病（CKD）患者における炭酸ランタンの安全性および有効性を検討することを目的とした非盲検、非対照、長期投与試験（二重盲検比較試験からの継続試験）」

【治験依頼者：バイエル薬品株式会社、開発の相：第 相、
対象疾患名：慢性腎臓病、治験薬名：炭酸ランタン（BAY 77-1931）】

-の治験に関する安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 6施設）

治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (36) 「日本人健康乳幼児を対象とした沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン（DPT）と同時接種したときの13価肺炎球菌結合型ワクチンの安全性、忍容性及び免疫原性を検討する第3相無作為化7価肺炎球菌結合型ワクチン対照二重盲検比較ならびにDPTの非盲検単独接種群に対するDPTの免疫原性比較試験」

【治験依頼者：ファイザー（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：肺炎球菌感染症、
治験薬名：13vPnC(13価肺炎球菌結合型ワクチン)】

-の治験に関する変更（治験参加カード： ）、及び安全性報告（ 、 ）に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 4施設）

治験参加カードの変更について審議を行った。
また、治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

（継続の適否：対象医療機関 1施設）

実施医療機関より報告があった重篤な有害事象の発生状況や因果関係等について確認し、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (37) 「 (QVA149のCOPD患者を対象とした第 相試験) 」

【治験依頼者：ノバルティスファーマ（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：慢性閉塞性肺疾患（COPD）、治験薬名：QVA149】

-の治験に関する変更（治験薬概要書）、及び安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 9施設）

治験薬概要書の改訂及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【審査結果】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (38) 「市中肺炎に対する注射用スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム高用量投与の多施設共同、非盲検、非対照試験」

【治験依頼者：ファイザー（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：市中肺炎、治験薬名：CP-074859】

-の治験に関する変更（治験実施計画書）、及び安全性報告に関する継続の適否について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 12施設）

治験実施計画書の改訂及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

【 審査結果 】

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

- (39) 「 (SYR-322の急性冠症候群を有する2型糖尿病患者を対象とした第 相試験)
」

【治験依頼者：武田薬品（株）、開発の相：第 相、
対象疾患名：急性冠症候群を有する2型糖尿病、治験薬名：SYR-322】

-の治験に関する変更（実施計画書： ）、及び安全性報告（ ）に関する継続の適否、並びに治験の実施（ ）について

【当該試験に関係のある委員（手順書第5条第6項に該当する委員）】：無

【審査内容（概要）】

（継続の適否：対象医療機関 9施設）

治験実施計画書の改訂及び治験依頼者より報告された安全性報告について、治験を継続することの適否について審議を行った。

（実施の適否：対象医療機関 2施設）

新規に参加を希望する医療機関について、それぞれ実施体制及び同意説明文書（案）等について審議を行った。

【 審査結果 】

「承認する。」

「承認する。」

理由等（「承認」以外）：

報 告

(1) 「標準治療を受けている急性冠症候群患者を対象とするAPIXABAN 24週間投与時の安全性および有効性評価を目的としたプラセボ対照、多施設共同、無作為化二重盲検試験」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相、
対象疾患名：急性冠症候群、治験薬名：BMS-562247(Apixaban)】

-の中止報告について

【 内 容(概要) 】：治験中止について報告された(5施設)。

報 告

(2) 「急性冠症候群患者を対象とするアピキサバンの安全性および有効性評価を目的とした第3相無作為化二重盲検試験」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相、
対象疾患名：急性冠症候群、治験薬名：BMS-562247(Apixaban)】

-の中止報告について

【 内 容(概要) 】：治験中止について報告された(11施設)。

報 告

(3) 「骨盤内炎症性疾患に対するアジスロマイシン注射剤からアジスロマイシン経口剤への切り替え療法の多施設共同、非盲検、非対照試験」

【治験依頼者：ファイザー(株)、開発の相：第 相、
対象疾患名：骨盤内炎症性疾患、
治験薬名：CP-62,993-3- /CP-62,993-3(アジスロマイシン水和物)】

-の終了報告について

【 内 容(概要) 】：治験終了について報告された(2施設)。

報 告

(4) 「YM150 第 相試験

」

【治験依頼者：アステラス製薬(株)、開発の相：第 相、
対象疾患名： 、治験薬名：YM150】

-の終了報告について

【 内 容(概要) 】：治験終了について報告された(4施設)。

報 告

(5) (医師主導治験：インフルエンザA(H1N1)感染症(成人))
「新型インフルエンザA(H1N1)に対するインフルエンザHAワクチンの免疫原性に関する臨床試験」

【治験依頼者：(医師主導治験)、開発の相：第 / 相、
対象疾患名：インフルエンザA(H1N1)感染症、治験薬名：K1B-H1N1】

-中止報告について

【 内 容(概要) 】：本治験に関する承認(一部変更)申請を行わないことについて報告された(3施設)